

政治を知ると世の中のしくみが視えてくる

市議会だより

かつらぎ

KATSURAGI

Vol. 50
2023.9.1.

Parliamentary reports of Katsuragi



特集 きかせて！市民の声

▶「白鳳中学校生徒会
新庄中学校生徒会」の皆さん

報告 令和5年第2回葛城市議会定例会 令和5年第2回葛城市議会臨時会

▶ 今号の目次は4ページをご覧ください

今回は、白鳳中学校と新庄中学校の生徒会で活躍している皆様にインタビューしました。中学校生活の様子や葛城市をよくするためのアイデアなどについても伺いました。

なお、本文はそれぞれの中学校ごとにインタビューした内容を一つに構成したものです。

出席者11人に聞いてみました

- ① 議会の年間開催数は？…… 知っている（4回） 4人
- ② 議場の場所は？…… 知っている（新庄庁舎5F） 8人
- ③ 議会だよりをご存じですか？…… 知っている 8人

生徒会ががんばっていること

白 鳳中学校生徒会では、学校全体で楽しめることを開催する予定を立てています。昨年は学校の池の水を抜いて掃除しました。いま3年生のベランダで夏に向けてグリーンカーテンになるゴーヤを植えています。

毎 週月曜日にあいさつ運動として登校してくる生徒の皆さんにあいさつをしています。赤い羽根共同募金も取り組みました。

新 庄中学校生徒会では、校則の改正、赤い羽根共同募金、家庭学習の手引きの説明、学校のスローガンについて意見を集めて看板にすることなどに取り組んでいます。



新庄中学校
生徒会副会長

組んでいます。昨年はウクライナへの募金を道の駅でさせていただきました。

校 則の改正は、髪型については華美すぎることがなければ広い範囲で自由にしてもいいというふうに変えました。ただ自由にするだけでみんなが行き過ぎたものになってはいけなから、将来、入試や仕事の面接にも通用するような身だしなみになるようにした上で、できるだけ自由化を図りたいと、細かいところまで考えました。生徒手帳にも誤解を与えないような表現を工夫し、何回も話し合っ

て決めました。



新庄中学校
生徒会書記



新庄中学校
生徒会会長

学校の自慢できるところは？

白 鳳中学校のいいところはバリアフリー化が進んでいるところです。エレベーターや「みんなのトイレ」があるところがいいところです。

先 生と生徒の仲がいいところで、先生方がフレンドリーで、普段から明るく楽しい学校です。

学 習面でタブレットとか電子黒板があって、夏はクーラーもあり、いい環境で勉強できます。

新 庄中学校の自慢できるところは、1人1人が礼儀正しく、先生にもしっかりと敬語を使って話ができることです。



新庄中学校
生徒会書記



新庄中学校
生徒会副会長



白鳳中学校
生徒会会長

み んな活気にあふれていて、すぐ元気なところなんです。

体育大会とか合唱コンクールで、クラス一丸になってがんばれるところがいいと思います。

生 徒1人1人が個性を発揮しながら、お互いを尊敬し合って仲良くまとまっているところなんです。

もっと学校を よくするためには？

タ ブレットが配布されて勉強しやすくなりましたが、机の上にタブレット、教科書、ノートがのりきらなくて、そういう面が改善できればいいと思います。



白鳳中学校
生徒会会計

ト イレを洋式に変えるみたいな。体育館の照明はLEDにしてほしいです。

新 庄中学校にエレベーターがあるとみんなにとっていいなと思います。特に吹奏楽の楽器を4階から下ろすときに傷んだりするので、あるといいなと思います。

コ ロナの影響があつてみんなの協力で始まったイベントなどが減っているの、直接いろんな人と関わり交流ができる機会を生徒会として増やしていければいいなと思います。

もっと葛城市を よくするためには？

冬 とか帰り道が真っ暗で危ないの、もっと街灯が多ければいいと思います。

い つでも使える自習室があればいいと思います。



白鳳中学校
生徒会書記



白鳳中学校
生徒会書記

こ のようなインタビューのように意見を発表できたり、市民の声をもう少し聞いたりしてほしいな、というところです。

葛 城市にはいいところがたくさんあります。自然が豊かで歴史があるところです。だから、もっとSNSなどを使って発信していけたら、他から人が訪れていいまちだなと思ってもらえるようになると思います。

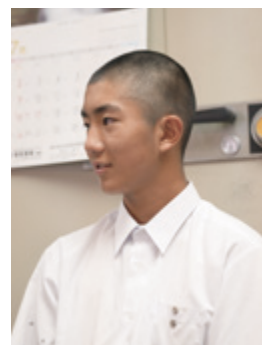
将来の夢は

人 の役に立つ仕事に就きたいと思っています。

困 つている人や苦しんでいる人を助けて幸せにすること



白鳳中学校
生徒会副会長



白鳳中学校
生徒会副会長

ができる人になりたいです。

ユ ーチューバーになって、自分の趣味などを発信できたらいいなと思います。

動 物が好きなので、動物に接することができるといいなと思います。

周 りから慕われる、親しみやすくて尊敬される人を目指したいと思っています。

自 分が活躍できるような仕事に就いて、幸せな家庭が築けたらいいなと思います。

インタビューを終えて

今どきの若い子は…の後に続く言葉は大抵否定的だと思いますが、今回は今どきの若い子は自主性があり、探求心があり、それを実現する実行力があるということを知ることができました。葛城市の将来を担う中学生たちに、たのしみさを感じたインタビューになりました。

令和5年第2回葛城市議会定例会 令和5年第2回葛城市議会臨時会 が開かれました

- 県域水道一体化調査特別委員会で最終調査報告書を提出（定例会）
- 白鳳中学校南棟長寿命化改修工事関係の補正予算等を可決（臨時会）

全議案の審議結果

P 15

臨時会

P 14

令和5年第2回定例会（6月議会）を、6月15日から29日の日程で開会しました。

初日に、市長より人事案件、報告案件、条例制定および改正案件、契約締結案件、補正予算が提案されました。

2日間の一般質問に続き、各常任委員会を開催し、議案の審査を行いました。議会改革特別委員会、県域水道一体化調査特別委員会では調査報告を行い、予算特別委員会では補正予算の審査を行いました。また当麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会を開催しました。

令和5年第2回臨時会を7月13日に開会しました。

白鳳中学校南棟長寿命化改修工事に伴う工事請負契約変更について審議し、採決を行いました。

今回の会議

常任委員会

本会議で付託された議案を2つの常任委員会で審査を行います。また、それぞれ所管する調査案件についても話し合います。

P 5～6

議会改革特別委員会

議会活動の活性化を図り、議会改革の調査・研究を推進します。

P 5

当麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会

当麻庁舎周辺施設を含め、庁舎機能のあり方等について調査・審査を行います。

P 6～7

予算特別委員会

行政側から提案のあった予算について審査を経て、委員会採決を行います。

P 7

一般質問

各議員が、市政全般について行政側の考えを問いただします。

P 8～14

最終報告

単独経営決断で見えてきた課題とは

県域水道一体化調査特別委員会

本委員会は、令和2年3月30日に設置され、延べ3年3か月にわたり、委員会として11回、協議会として9回、調査及び審査を重ねてきた。本委員会が設置された理由は、「将来の水道事業に関する変化に伴い、集中的に審査を行うため」ということであった。最終的には、葛城市は単独経営を選択するに至った。

市長の単独経営選択の表明を受け、本委員会の目的は達成したとして調査を終えることとなった。今後は、これからの水道事業および本委員会で判明した浄水場等の施設や人材確保等の課題の調査を所管の常任委員会で検討することとする。

（調査報告の内容は2次元コードをご参照ください。）



総務建設常任委員会

■議案内容

議第52号「工事委託協定の締結について（尺土駅舎南側改修工事委託）」

尺土駅の駅舎南側にエレベーターを設置するに当たって、実際の工事を委託する近畿日本鉄道株式会社（近鉄）と工事委託協定を結ぶもの。

■主な質疑

問 工事中の安全確保は。

答 近鉄と協議して、ガードマンの設置や誘導区域の決定などの対策を講じていきたい。

問 工事引き渡し後、※瑕疵があった場合の対応はどうか。

答 今後、近鉄と協議していく。

意見 請負契約であれば瑕疵責任が契約書に正確に記載されるが、今回は委託協定なので企業側が有利に記載される場合もある。葛城市の立場をしっかりと主張してもらいたい。

■採決

委員会、本会議共に全会一致で可決。

尺土駅南側エレベーター工事

議案審議

■奈良県社会教育センター跡地利用に関する事項

葛城インターチェンジ周辺エリアを軸とした観光産業創出事業への国の交付金の支給が決定した。事業内容は、①滞在型観光の促進、②広域観光の促進で構成されている。

滞在型観光の促進では、ちゃんこコンテスト等の相撲関連イベント、景観を活用したイベント教室、宿泊施設の誘致に向けた宿泊可能性調査を実施する。また、道の駅かつらぎの観光インフォメーション機能強化を図るためにデジタルサイネージを導入し、道の駅かつらぎからしあわせの森公園の展望広場までのエリアにはフットライト設置工事を行う。

広域観光の促進では、大阪・関西万博を見据えたインバウンドに対応するため、多言語対応コンテンツの構築を図る。

■主な質疑

問 相撲関連のイベントの開催は大いに賛成だが、一部の店舗

やエリアにとどまらず、市内全体の活性化につながる施策は考えているか。

答 例えば、ちゃんこが葛城市のソウルフードとなることを願って、市民に対しては、コンテストで優秀な成績をとったレシピを公表したい。市内飲食店でも、店ごとに独自のちゃんこを提供されるような取組を考えていきたい。

意見 ちゃんこを提供する飲食店が市内のいたるところで見られると大変よいと思う。市民とちゃんこの距離が近づくような取組を期待している。



ちゃんこをソウルフードに

調査案件

議会改革特別委員会

定例会中の6月23日に開催し協議・審査を行った。

■葛城市議会議員定数・報酬・政務活動費に関する基礎調査報告書（案）について

2月15日と6月5日に作業部会を開催し、本報告書（案）の内容について協議した。

令和3年10月の選挙において市政施行以降初めての無投票選挙となった。その状況を重く受け止め、今後の葛城市議会の資質向上のために、適正な議員定数・報酬・政務活動費を検討する基礎資料を全国の人口類似団体や県内12市の状況等を含め、様々な角度から調査を行っていただくことを報告した。

委員からは、「県内12市それぞれの議員一人当たり住民数を記載してはどうか。」等、様々な意見があり、これらの意見を参考に再度、作業部会で協議し、また改めて委員会で報告することとした。

議会の資質向上のために

調査案件

※瑕疵（かし）……法律上、何らかの欠点・欠陥があること。

厚生文教常任委員会

■議案内容

議第53号 「工事請負契約の締結について（いきいきセンター大規模改修工事）」

■主な質疑

問 改修で和室が洋室となるが、避難所利用時の寝る際に辛くないか。

答 洋室化はフローリングではなくカーペット敷きで、段差を無くしフラットにする。使える面積も広くなり、指定避難所としては強化される。

問 エレベーターの設置はないようだが、体の不自由な人が来館された際の対応は。

答 職員の寄り添った支援や、1階で用件を済ませることができ、対応を行う予定である。

市長 エレベーター設置はできないので、昇降機等が設置できるか検討したい。

問 この施設は60歳から利用できるが、50年前の建設時の60歳と今の60歳は違う。高齢者の人

いきいきセンターを大改修

議案審議

数が増えていることについて検討しているのか。

答 運動器具があればウエルネスに行かなくても通えるという声もあり、参考にしていく。

■採決

委員会、本会議共に全会一致で可決。

■不登校に関する事項

昨年、葛城市の不登校児童・生徒が増えたことを受け、厚生文教常任委員会では、不登校に関する調査を進めてきた。同時に教育委員会においても、不登校支援の先進取組の視察を行い、本年度より葛城市独自の不登校の取組として、各小中学校の特別教室や普通教室などを活用し、登校しにくい、登校したくてもできない、教室に入れない子ども達のための学びの場や居場所としての「I（アイ）room」の設置に至った。

■主な質疑

問 既存の「ふたかみ教室」との関係性は。

答 学校に行くことはできないが、外には出ることができ、場合は「ふたかみ教室」。学校に行くことはできるが、自分の教室に入れない場合は「I room」を利用するイメージである。

問 現在の運用状況は。

答 毎日子ども達の様子を記録して管理職や教育委員会で共有しているが、子ども達の居場所になりつつある。

問 普通学級の子どもの達の「I room」への理解は。

答 子ども達は友達同士、隔たりにくく接してくれている。

問 全体構想の中で、適応するのは子どもではなく学校であるという考え方が示されているが、学校はどう変わっていくのか。

教育長 まずは教員の意識を変えないといけないというのが言葉の意図である。教員は、どうしても型にはめて導いていくところがある。子ども達は何を感じ、何を将来に向けて育みたいのかという、子どもの適応をしっかり見ていくことを意識するよう学校に指示をした。

当麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会

先般募集のあった「葛城市当麻複合施設整備基本計画（案）」に関するパブリックコメントの結果と、意見を受けて修正を行う部分などについて報告を受けた。

■主な質疑

問 パブリックコメントで応募のあった意見に対する市の考えは公表するのか。

答 意見について、市の考え方を明記した上で公表の予定。

問 設計の過程で、どの段階までなら市民や議会の意見を反映できるのか。

答 令和5年度末までに完了予定の、基本設計段階までなら反映できる。また管理運営に関する部分は、設計業務と密接に関連するので、設計業務への内包を含めて検討している。

問 基本計画策定に当たり、様々な市民の声を集めてきた。今後、設計案を固めていく段階だが、市

園児の置き去りを防止！ 他

予算特別委員会

■議案内容

議第56号「令和5年度葛城市一般会計補正予算（第3号）の議決について」

観光ホームページ

問 多言語対応ホームページはどのような内容か。

答 葛城市の観光に特化したホームページを作成する方向で考えており、今後は観光協会と協議しながら連携を検討していく。

バス安全装置設置

問 保育環境改善等事業補助金の内容は、送迎バス内の園児置き去り事故を受け、園児置き去り防止ブザーを送迎バスに設置することを目的とした補助である。令和4年9月以降に設置した安全装置が対象であり、市内すべての私立保育園の送迎バスにはすでに設置済みである。

問 国が推奨している仕様にあった安全装置なのか。

答 安全装置には2種類あり、エンジン停止後、ブザーが鳴り後部座席のボタンを押して停止させる装置と、センサー式で園児が残っているとセンサーが作動しブザーが鳴る装置である。どちらが設置されているか、確認したい。

参考
送迎バス置き去り防止装置
(国土交通省 HP)



太鼓橋測量設計等委託

問 土木費市道管理事業における測量設計等委託料の内容は。

答 太鼓橋について、安全性を担保できないので、通行止めを行っている。地元の要望を受け、歩行者の通行が可能かどうかの構造調査や必要な修繕の概算的な設計を専門家に委託するものである。

生活保護システム改修委託料

委員 改修費用は国の補助金により、2分の1に抑えられるが、ベンダーから一度システムを導入すると、改修にかかる経費が他のベンダーより高くても、そのベンダーから乗り換えることが出来ず、経費削減のしようがない状態、ベンダーロックが問題である。

国 がDXを推進しているのは、その対策でもあり、国が進めている共通システムの導入も検討し、費用対効果を見極めて対応いただきたい。

採決

委員会、本会議共に全会一致で可決。

民の声を細かく反映していく作業をどう考えるのか。

答 市民アンケートに始まり、市民ワークショップ、パブリックコメントに至るまで市民の意見の蓄積はかなりできている。基本設計段階では、それらを形にして見せることで、新たな意見をいただくことを想定する。

問 周辺エリアの跡地活用は、まちづくりの観点を含めて検討していく必要があるが、どういった条件を設けてプロポーザルで提案を求めているのか。

答 立地適正化計画の大枠の中で都市再生整備計画を作成しており、複合施設と連携をとりながら周辺の賑わいを作り出すエリアとして位置づけている。

問 20年後、新庄庁舎も耐用年数が超える。庁舎のあり方も含め、子や孫に迷惑がかからないような方策を練る必要があるのでは。

市長 将来的にどのような庁舎機能・規模が必要かということに関し、ライフスタイルの変化や通信やAI等の技術革新を考慮すると、時間をかけて考えていく必要がある。

市政に斬り込む！ 一般質問

一般質問は、議員が自らの問題意識に基づき、市政全般に対して現在の状況や将来の方針について質問し、政策の見直しや提言などを行うことです。6月定例会では、6月16日・19日の2日間にわたって12人の議員が一般質問を行いました。

自転車ヘルメットの着用促進について



松林 道路交通法の改正により令和5年4月1日から、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。これまでは13歳未満の子どもが対象であったが、全年齢に拡大された。着用しなくとも違反とはならないが、致死率を下げる効果があるため、年齢を問わず着用することが大事である。自転車の乗車中に亡くなった人の約6割が頭部に致命傷を負っている。被害軽減のため、頭部を守ることが重要である。自転車乗車中のヘルメット着用の有無と致死率の関係性は、着用の場合は非着用に比べて致死率は約半分になる。自転車ヘルメットの着用促進のためにヘルメットの購入費用の一

部助成をする自治体もある。奈良県では、上牧町でも自転車ヘルメット購入費用の一部補助制度が創設されている。

問 本市においても、自転車ヘルメットの着用促進のために、一定の基準を設けて、購入費用の一部を助成することは大きなことであると思うが阿古市長の見解はどうか？

市長 自転車ヘルメット購入の一部助成は必要なことだと感じている。税金を使う以上、税の公平性を一番に考え制度設計を、どのような形で出来るのかということを研究したいと考える。しかるべき時期に予算計上したいと考える。

一般質問



松林 謙司

まつばやし けんし

その他の質問

- ・熱中症対策の推進について
- ・多胎児世帯への助成制度の創設について

一般質問

災害時のトイレ問題について



坂本 剛司

さかもと つよし

その他の質問

- ・葛城市の公立幼稚園について

問 「トイレパニック」という言葉がある。この言葉が生まれたきっかけは阪神淡路大震災。地震直後の避難所では水洗トイレが使えず、便器が排せつ物であふれてしまったという。災害への備えというと「食料・飲料の備蓄」が真っ先に思い浮かぶが「トイレ」への対策も決して忘れてはいけない問題だ。葛城市での大災害時のトイレ対策は。

答 市役所では簡易組立てトイレ、段ボール製トイレを一定数備蓄している。それ以外のトイレ関連用品の提供についても発災時に迅速に対応してもらえよう。NPO法人と協定を締結している。さらにマンホールトイレを市内8か所の公園に19基設置している。

問 この災害時のトイレ問題について市長のお考えは。

市長 災害に強い葛城市を目指している。最悪、全てのライフラインが破損した場合、まず家庭においては便器にゴミ袋を設置し処理をするのがベストかなと考えている。避難所では仮設トイレの設置に時間がかかるので葛城市では個室型テントの中に段ボールトイレを入れ専用袋又はゴミ袋等を使用する。市民がトイレに行けなくて大変なことになるということは避けられよう対応していきたい。

坂本 市役所も被災して大変だと思うが、できる限りのことをやっていただきたい。

市内小学校区の調整で 保護者のニーズに対応を！



一般質問



吉村 始

よしむら はじめ

その他の質問

- ・気象警報時の登校登園の判断について

問 市民が小学校区について話し合う場の設置を4年前から要望してきた。昨年度、学校運営協議会（協議会）での話し合いや保護者アンケートが行われたが？

答 アンケートでは、校区の調整が必要と回答した保護者が180人おられた。

問 具体的な意見は？

答 児童数が多い小学校の校区を小さく、少ない小学校の校区を広くすべきという意見や、家から近い小学校に通えるようにしてほしいといった意見があった。

問 協議会での結論は？

答 校区自体の変更はしないこと、指定校変更の基準を改定することとした。

問 指定校を変更できる基準については？

答 指定校よりも隣接校のほうが近く、通学に安全上問題がない場合などの要件を設けるよう検討中だ。

問 導入の手順は？

答 今年9月をめどに内容を精査、変更し、令和6年度からの実施を目指す予定だ。詳細が決まれば、ホームページ等で周知する。

吉村 保護者のみならず、広く市民に周知願いたい。

問 子どもたちの教育環境についての考えは？

教育長 通学区域の調整は、教育環境を整える一つの方法だ。保護者のニーズに対応するための弾力的な運用であると考えている。

吉村 市民の声を丁寧に聞いて制度設計の方針を決めた今回の対応を評価する。

※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。

行政のデジタル化は、手続きの利便性と全市民がなじみやすい体制で！



一般質問



川村 優子

かわむら ゆうこ

その他の質問

- ・今回は1つの問題に焦点を当てて、掘り下げて質問

【川村】 デジタル社会の実現を政府の方針として示され、住民に身近な行政を担う市町村の役割は重要である。マイナンバーカードの普及促進、行政手続きのオンライン化など、住民とその意義を共有しながら進めていくことが重要である。高齢者がデジタルに取り残されない体制づくり、子育て世代の利便性に叶うデジタル化を進めていただきたい。

【問】 マイナンバーカードの誤登録の事象について、葛城市はどのような状況か伺う。

【答】 葛城市の場合、登録の支援の際、専用端末がログアウトになっているかを確認し、手続きの最中や完了後に、各登録内容を市民の方に確認いただきながら実施している。

【問】 デジタル社会の実現は誤登録はないと考えている。市の支援以外でスマートフォン等を用いて、市民の方が自分で登録したり、郵便局や携帯電話ショップでも登録支援をしているので、市で全ての把握は難しい。

【答】 精通したデジタル人材の確保や市民へのサポート体制、デジタル格差をつくらない市民になじみやすい体制が必要と思うが。

【問】 デジタル人材については一般職員よりも高度なデジタル技術等の知識、能力、経験等が求められる、現在葛城市では、リコージャパンから人材を受け入れており民間の力も活用しながらデジタルの推進をしていきたい。

一般質問



藤井本 浩

ふじいもと ひろし

その他の質問

- ・今回は1つの問題に焦点を当てて、掘り下げて質問

JR 大和新庄駅の駅舎が市の所有なら安全面は？ 将来構想は？ トイレは？



【問】 駅舎の所有者は。

【答】 葛城市に属する建物。

【問】 いつ建設されたものか。

【答】 昭和25年と思われる。

【問】 耐震等の安全確認は。

【答】 診断は行っていない。

【問】 補修・改修が必要な場合どこがするのか。

【答】 JRとの協定書により協議を行い市が施工する。

【問】 安全性確認が必要では。

【答】 まず耐震診断実施から検討していきたい。

【問】 街路事業等の中に位置するこの駅の将来構想は。

【答】 葛城市の都市機能を担う重要エリアであり市の発展に欠かせない駅である。利便性の向上に努めたい。

【問】 トイレを設置しないという方針に変わらないか。

【答】 変わりない。

【問】 トイレ撤去の際、近隣3大字だけに説明・了解を得た行政手法に問題ないか。

【答】 手続き上問題無かった。

【問】 他の市内駅の設置は。

【答】 全て設置されている。

【問】 各市町村が設置した評価は。

【答】 地元要望を受け市の事業として設置。電車の本数が少ない中で「ありがたい」と意見があったようだ。

【問】 観光的な催しの集合場所から当駅は除外されていることについての所見は。

【答】 トイレがなく集合場所に適さないと認識している。

【問】 葛城市だけがトイレを設置しない理由は。

【答】 地元コンセンサスが得られるのか？等クリアしなければならぬ問題がある。

一般質問



西川 善浩

にしかわ よしひろ

その他の質問

- ・带状疱疹ワクチン接種助成に向けて
- ・スポーツ大会等出場者への激励金について

奈良県知事交代による 本市事業への影響は！？



問 県知事交代により、本市が進める事業において頓挫・縮小される懸念があり、特に県と協働で行う、葛城ICエリア付近の賑わいを創出する事業や旧奈良県社会教育センター跡地利用に関する事業の現状を伺う。

答 本エリアについては道の駅かつらぎ、また旧奈良県社会教育センター跡地を中心に、広域観光と滞在型観光を促進し、観光産業への転換を図るためのまちづくりについて検討を進めており、現在は、宿泊施設の誘致に向けて奈良県と調整をしている。

市長 葛城IC周辺・道の駅かつらぎエリアについては特に相撲コンテンツを活用し賑わいを創出していく。新たに就任された知事には奈良県社会教育センター跡地含めこのエリアのまちづくりの可能性を十分に理解して頂き、奈良県と連携し進めていきたいと考える。

西川 山下知事はこれまで県が進めてきた大型事業でさえも予算の執行停止をされているところである。本市にあつては、このエリアを非常に重要なところであると理解して頂くために、市長にはしっかりと訴えて頂き、自身も今まで以上に危機感を持って取り組んでいく。

葛城市産農産物のブランド化による 地域農業の活性化



一般質問



増田 順弘

ますだ のぶひろ

その他の質問

- ・通学路の安全対策について

問 コロナやロシアのウクライナ侵攻による影響で農業経営が厳しい状況にあるが、国・県・市の支援はどのようなものがあるのか。

答 肥料価格の高騰分に対し国が70%、残りの半分を県が助成しているが、市は助成を行っていない。

増田 県下の自治体によっては農業用の機械や施設の購入費への助成および新規就農者への市独自の支援策を講じられている事例があるが、本市においても今後の状況を見極め、農業に対する支援を求める。

問 肥料価格高騰助成の申請状況と申請期限は。

答 ほとんどの方が申請されているようであるが、中には少量である等の理由で申請しない方もあるようである。申請期限は今年7月31日までに延長されている。

問 本市の農業は青ネギ、菊、ナス、いちご等市場で高い評価をいただいているが、市がこのような農産物にお墨付きをつける、つまりブランド認証をしていただき、農産物のPRに努めていただきたいが。

答 葛城市を訪れていただき本市の農産物を購入していただくことで、地域農業の活性化と生産意欲の向上を目指し、現在、県やJAとも相談しながら、品質基準、公平性の確保等についての会議を重ね、葛城市の農産物のブランド化事業を早期に開始できるように努めていく。

※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。

アフターコロナの国際交流事業



一般質問



柴田 三乃
しばた みつの

その他の質問

- ・インバウンドを見据えた観光事業について
- ・学校における国際教育について

問 コロナ感染症で一旦中止になっていた国際交流であるが、現状は。

答 オーストラリアのストラスフィールド市と中国の臨沂^{リンぎ}市の2市と子ども達の交流を軸に進めてきたが、止まっている状況である。

問 コロナがら類に移行し、これからどのように国際交流を進めていくのか。

答 子どもの交流を軸に世界情勢を見極めながら、再度検討したい。

問 海外との交流も大事だが、本市に在住する外国人との交流も国際交流と考える。市内での国際交流イベント等の一端を以前市民から募った国際交流ボランティアに担ってもらおうのがよいと思うが、国際交流ボラ

ンティアについての考えは。
答 現在登録者は11名だが、コロナの影響で活動はない。どのような活動ができるか検討していきたい。

市長 コロナが落ち着いたので、国際情勢を考えながら国際交流を進めていきたい。子どもたちの国際交流を目指したい。どのようなやり方があるのか、再度検討したい。

柴田 子どもの交流を中心に考えるのであれば、特定の都市に限定する必要はないと考える。実際オーストラリアのメルボルンの小学校2校と新庄小学校および當麻小学校が交流を始めた。このような交流を長く続けていくことが大事ではないかと考える。

一般質問



杉本 訓規
すぎもと くにのり

その他の質問

- ・今回は1つの問題に焦点を当てて、掘り下げて質問

今後の警察駐在所跡地利用と安全防犯体制について



問 奈良県警察施設合併の計画の経緯は。

答 県有施設の耐震性および安全性を確保するために県有施設等耐震検討チームを立ち上げ検討を重ねられた結果、昭和56年6月以前の構造基準で設計建築された施設について使用を継続する施設については、利用者の安全確保のため全て耐震診断を実施するとの方針が示された。

問 忍海駐在所がなくなつたが現在はどうなっているのか。

答 現在閉鎖された状態であり利用はされていない。

問 合併前と後ではパトロール体制は強化されているのか。

答 24時間体制で3交代に

よる2人の警察官がパトロールを実施。県警の機動捜査隊や自動車警ら隊などの活用により統合前と比べてパトロール体制が低下しないよう取り組んでいる。

杉本 地域密着の忍海駐在所があることにより登下校の安全や地域の安全が確保できていた部分がある。なくなるにより不安の声も聞いている。市民の皆様が安心できるよう、跡地に警察官が立ち寄れる施設など工夫していただきたい。
副市長 不安のない生活が送れるように創意工夫をしてまいりたい。
市長 意見をしっかりと伺いながら多角的に調査し研究してまいりたい。

一般質問



谷原 一安

たにはら かずやす

その他の質問

- 公園のトイレの管理について

公共施設の公平な管理運営を！ 指定管理者制度運用のあり方を問う



- 問** 指定管理者制度にもとづき民間団体等に管理運営を委ねている葛城市の公共施設はいくつありますか。
- 答** 61施設ございます。
- 問** 指定管理料は支払われていますか。
- 答** 道の駅かつらぎを除いた60施設に支払っています。
- 問** 指定管理料を算出するための指針を葛城市は持っていますか。
- 答** 指定管理料積算のための指針等はございません。毎年予算編成時期までに、指定管理者から提出される経営状況や経営計画にもとづき、担当課が協議を行い、精査したものを予算計上することになります。
- 谷原** 令和4年度一般会計補正予算第8号において、電気代等の高騰を理由に福祉総合ステーションの指定管理料を当初予算の39%増にあたる2,800万円を追加する予算が計上されました。しかし、その他の指定管理施設には追加の指定管理料は支払われていません。公平性にかけるのではないのでしょうか。
- 問** 収益事業を行う指定管理施設はいくつありますか。
- 答** 4施設です。
- 谷原** 2施設からは事業利益の成果配分を、1施設からは施設使用料を市は取っています。1施設については、成果配分も施設利用料も取っていません。
- 指定管理者制度運用指針を作成し、公平に施設を管理することを求めます。

河川（用水路）と橋等の危険予知対応



一般質問



横井 晶行

よこい まさゆき

その他の質問

- 臭気対応について

- 問** 災害が発生または、発生するおそれのある場合、河川（用水路）と橋等の危険予知について、市役所はどのような対応を行っていますか？
- 答** あらかじめ大雨に関する気象情報について、奈良県および奈良地方気象台と情報連携を取っており、警戒レベルをランク付している。大雨注意報が発令されると「気象状況悪化（警戒レベル2）」になり、大雨洪水警報が発令されると「災害のおそれあり（警戒レベル3）」になり、更に、土砂災害警戒情報が発令されますと「災害のおそれ高い（警戒レベル4）」となります。状況に応じて、市役所内に災害対策本部を開き、
- 設して、気象情報等を共有し、総合的な対策について指示伝達が行われます。具体的には、6月2日～3日の大雨災害対応事例として部長級職員全員、生活安全課職員全員、総務部課長級以上の職員全員、産業観光部および都市整備部の主査級以上職員の全員の総勢50名がそれぞれの持ち場において待機し、2班体制で夜を徹しての巡回及び対応を行い、緊急対応としては、水中ポンプ運転等も行って市民の生活や安全を守っています。
- 横井** いつ発生するか解らない災害ですが、市役所が徹夜で民達の生活や安全を守ってくれている事には、心丈夫な回答でした。

※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。

パブリックコメント制度を 公正で信頼性あるものとするために



一般質問



奥本 佳史
おくもと よしふみ

その他の質問

- ・今回は1つの問題に
焦点を当てて、掘り
下げて質問

パブリックコメント制度（意見公募手続制度、以下パブコメ）は、広く人々の意見を集めることでより多様な視点を反映して行政の意思決定に繋げることを可能とする制度だが、一方で、①広く認知されておらず、特定の問題に関心を持つ方や影響力のある団体など、制度を知る少数派の利用に留まるため意見が偏る懸念。②特定の組織や団体が、意図的に情報操作やバイアス操作を行うことで、公正さや客観性が損なわれる懸念。③民意を確認して進めたという行政サイドの言い訳に利用される懸念。④必ずしも集まった意見が計画等に反映される訳ではないという制度矛盾を内包する。

問 パブコメ制度を有意義なものとするために、①行政からの積極的な情報発信と、複数の投稿手段の構築による制度参加者の多様性の確保。②利用時の倫理的ガイドラインの作成と、中立的な専門家等による監視の導入により、バイアス操作や意図的な類似投稿を防止、公正・公平性を確保。③制度の意義についての啓発活動。④投稿情報を処理・管理する、統括部署の設置。⑤意思決定後の適切なフィードバック体制の構築。⑥万一、不正行為が判明した場合の適切な対応と再発防止。を提案する。

答 今後DXを活用した新手法や、不正防止技術を適用した運用になると考える。

令和5年第2回臨時会（補正予算と変更契約について）

厚生文教常任委員会

現在施工中の白鳳中学校南棟長寿命化改修工事について2階の内装を解体したところ柱や梁の一部が削られ欠損した箇所や梁に細かなひび割れが見受けられた。

建物の強度に影響するようなのはなかったが、一部で鉄筋が露出する状況もあったため、建物の長寿命化の観点から、この機会に補修の必要があると判断している。当初設計で見込んでいた数以上の補修箇所となるので、現在の請負金額・工期では不足するため、必要額の補正予算および工期を計上し、変更契約の締結をする必要が生じている。

問 建設当時と同じ業者が施工した他の市内施設もあるがそれらの施設は大丈夫か。

答 他に同じ業者が施工した施設はあるが、いずれも強度に問題ないことは確認している。

問 今後このような事象を発生させないため、現在はどうのように管理・監督しているのか。

答 現在は工事期間中を通して、市職員、工事監理者、施工者によ

り週に一度は定例打合せと現場確認を行い、工程に合わせて現場検査も実施している。その他にも写真や施工報告書により施工状況を記録することで工事の管理・監督を行っている。

■議第58号「工事請負契約の変更契約の締結」

問 変更契約のたびに議決が必要なのか。県や他市ではどのようにしているのか。

答 本市では、契約金額の1割以内であれば議決を要さないという決まりはないが、他市ではそのような方法で議決を要さないところもある。

委員会、本会議共に全会一致で可決。

予算特別委員会

■議第57号「令和5年度葛城市一般会計補正予算（第4号）」

問 補正額の積算根拠は。

答 変更設計額の算出に当たっては、当初設計時と同様に公共建築改修工事の積算基準に基づき積算している。

委員会、本会議共に全会一致で可決。

令和5年第2回定例会議案等の本会議審議結果

議案等番号	件 名	議決結果
議第33号	葛城市監査委員の選任につき同意を求めることについて	全会一致同意
議第34号 └ 議第47号	葛城市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全会一致同意
報第2号	葛城市土地開発公社の経営状況の報告について	報告のみ
報第3号	令和4年度葛城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告のみ
報第4号	令和4年度葛城市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告のみ
議第48号	葛城市地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例を制定することについて	賛成多数可決
議第49号	葛城市税条例の一部を改正することについて	全会一致可決
議第50号	葛城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び葛城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	全会一致可決
議第51号	葛城市介護保険条例の一部を改正することについて	全会一致可決
議第52号	工事委託協定の締結について（尺土駅舎南側改修工事委託）	全会一致可決
議第53号	工事請負契約の締結について（いきいきセンター大規模改修工事）	全会一致可決
議第54号	工事請負契約の締結について（磐城認定こども園調理室等整備工事）	全会一致可決
議第55号	工事請負契約の締結について（葛城市立新庄中学校運動場北側擁壁改修工事）	全会一致可決
議第56号	令和5年度葛城市一般会計補正予算（第3号）の議決について	全会一致可決

議第33号	宅康次氏（萱）	議第35号	中谷博一氏（大和高田市）	議第36号	藏田仁氏（北道穂）
議第34号	岩本和夫氏（萱）	議第37号	神谷守亮氏（八川）	議第38号	上村恵一氏（當麻）
議第39号	山本美津男氏（柿本）	議第40号	菊江博友氏（竹内）	議第41号	吉村孝芳氏（辨之庄）
議第42号	山下博史氏（今在家）	議第43号	吉田恒弘氏（疋田）	議第44号	松岡秀樹氏（加守）
議第45号	岡本美穂氏（新村）	議第46号	河合忠尚氏（忍海）	議第47号	吉川弘孝氏（笛堂）
報第2号	令和4年度葛城市土地開発公社決算の報告。				
報第3号	令和4年度に設定した繰越明許費で、老人福祉事業をはじめ、全14事業について、令和4年度から令和5年度へ繰り越したことの報告。				
報第4号	令和4年度水道事業会計の建設改良費のうち、南藤井内池取水塔改修工事をはじめ、全4事業について、令和4年度から令和5年度へ繰り越したことの報告。				
議第48号	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づき、市内において対象施設を設置する企業に固定資産税の免除を行う特例に関して必要な事項を定める条例を制定するもの。				
議第49号	法令改正に伴い、軽自動車税において、新たに定義された特定小型原動機付自転車に関する規定の整備のほか、固定資産税では、長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに係る税額の減額措置の創設に伴う規定の整備など、所要の改正を行うもの。				
議第50号	こども家庭庁の設置により、上位法令の所管替えが行われたことに伴う文言整理のため、改正を行うもの。				
議第51号	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合等における減免措置について規定するため、改正を行うもの。				
議第52号	P5	議第53号	P6		
議第54号	磐城認定こども園調理室等整備工事について請負契約を締結しようとするもの。				
議第55号	葛城市立新庄中学校運動場北側擁壁改修工事について請負契約を締結しようとするもの。				
議第56号	P7				

令和5年第2回定例会議案等に対する各議員の賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては全会一致で可決、同意されました。

議案等番号	件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		氏名	西川	横井	柴田	坂本	杉本	梨本	吉村	奥本	松林	谷原	川村	増田	西井	藤井本	下村
		議決結果	善浩	晶行	三乃	剛司	訓規	洪珪	始	佳史	謙司	一安	優子	順弘	寛	浩	正樹
議第48号	葛城市地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	●	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 ※議長は表決に加わりません

令和5年第2回臨時会（令和5年7月13日開催）議案等の本会議審議結果

議案等番号	件 名	議決結果
議第57号	令和5年度葛城市一般会計補正予算（第4号）の議決について	全会一致可決
議第58号	工事請負契約の変更契約の締結について（葛城市立白鳳中学校南棟長寿命化改修工事）	全会一致可決

議第57号、 議第58号 P14

総務建設常任委員会視察研修

令和5年7月3、4日の日程で委員会の視察研修を行いました。

1日目は愛知県江南市を訪問し、今春に供用開始となった複合公共施設「tokotookoolabo」にて、本施設の計画策定の経緯から、運営面での維持管理の説明を受けました。今般、本市が當麻地区で進める複合施設の参考になる内容でもあることから、各委員は熱心

に担当者の説明に耳を傾けました。

2日目は富山県南砺市役所を訪問し、議場見学や南砺市が行ってきた各分野でのデジタル化の取組や交付金を活用したDX事業内容について説明を受けました。南砺市は山地が約8割を占め、そこに散居される住民も居るといふ事に加え少子高齢化現象も進むため、その解決方法としてデジタル化が進められました。本市が今後、更にDX推進をしていくなかで大いに参考

になる研修となりました。



▲南砺市研修

厚生文教常任委員会視察研修

令和5年7月11、12日の日程で視察研修を実施しました。

1日目は人口4万人の長崎県長与町において「部活動の地域移行について」の視察でした。

長与町は全国に先がけて部活動を地域のスポーツクラブに移行する取組をされています。これから取り組んでいく葛城市にとって大変有意義な研修となりました。

2日目は長崎市で「長崎包括

ケアまちなかラウンジ」および「ながさき若者会議」の取組について視察しました。

「長崎包括ケアまちなかラウンジ」は医療や介護が必要となっても安心して地域で住み続けるための総合相談窓口です。

「ながさき若者会議」は魅力的なまちづくりのために、若者が仲間とプロジェクトを考え実行する会議体です。

今回視察した2つの事業を葛城市でも実現できるか検討していきたいと考えます。

※両委員会の詳細な報告書はホームページに掲載予定です。



▲長与町議場

編集後記

「これまで経験したことのないような大雨」を伝えるニュースを目にすることが増えました。

いま若い世代に地球環境の悪化を悲観して心がうつになる「エコ不安」が広がっているそうです。未来を生きていく若い世代の感性に社会が応えていくことが求められています。

8月末にこども議会が葛城市議会本会議場で初めて開催されました。市内小中学校で学ぶ児童生徒たちの代表が意見を表明しました。今回の議会だより「きかせて！市民の声」インタビューはこの催しに合わせて、白鳳・新庄両中学校の生徒会役員の皆様に登場していただきました。未来を担う若い人たちの声にぜひ耳を傾けてください。(谷)

議会だより編集委員会

◎柴田 三乃 ○西川 善浩
横井 晶行 坂本 剛司
杉本 訓規 吉村 始
奥本 佳史 谷原 一安
(◎委員長○副委員長、議席順)

◆次号議会だより 令和5年12月1日発行予定です。